

10月24日の中国株の下落について

中国共産党新指導部への不安感が高まる

2022年10月25日

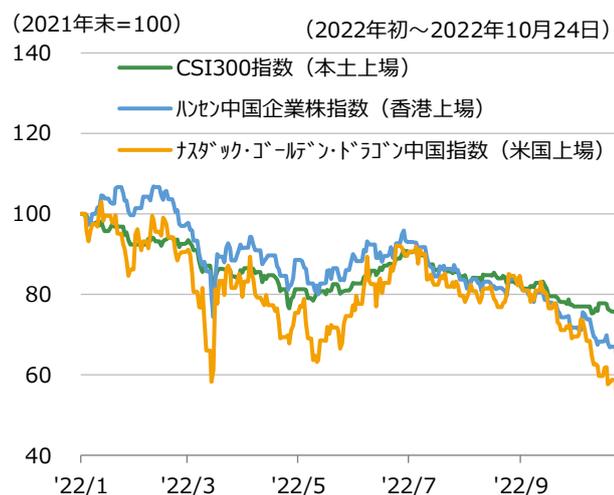
政策を見極める必要があり、目先は買い手控え感の強い状況が続くか

10月24日（現地）、香港ハンセン中国企業株指数が前日比▲7.3%、米国上場の中国企業株指数のナスダック・ゴールデン・ドラゴン中国指数が同▲14.4%と大幅に下落し、本土市場のCSI300指数も同▲2.9%になるなど、中国株は全面安の展開となりました【図表1】。香港市場と米国市場ではハイテクや不動産などのセクターを中心に下落幅が拡大し、本土市場では消費関連セクターの下落が目立ちました。

株価の下落は、23日に発表された共産党新体制が習近平氏への予想以上の権力集中を示したことにより、海外投資家を中心に不安感が広がったためと推測されます。習近平氏の10月16日の政治報告に関する演説を見る限り、直ちに市場にネガティブな政策等が発表される可能性は低いとみられますが、投資家の中長期的な不安感を短期間で払拭することもまた難しいと思われまます。

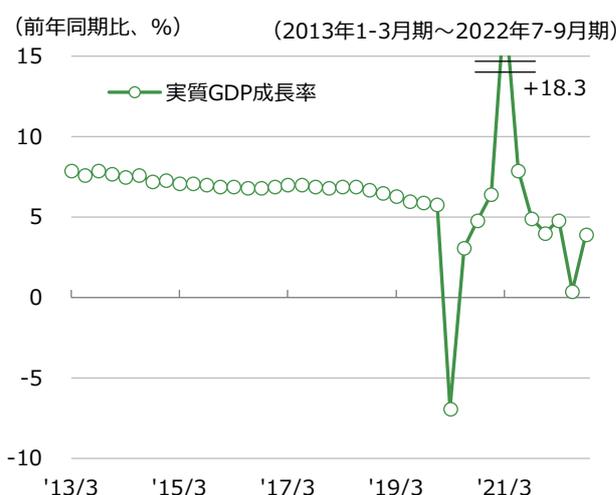
当面の中国株式市場ですが、これまで実施してきた景気下支え策の効果が徐々に表れ、強弱入り交じりながらも経済が回復軌道を辿っている点は【図表2】、今後利上げによる景気下押し圧力が強まってくるであろう他の主要先進・新興国に比べ優位性があると思われまます。しかし、2023年3月に全人代で発足する国務院（内閣に相当）や中央銀行の新体制がどのような経済政策を打ち出すかを含めて、金融市場では共産党新体制の具体的な方針や実際の政策を見極めようという傾向が強くなりそうです。もうしばらく政治の季節が続く間は、海外投資家を中心に買い手控え感の強い状況となる可能性が高そうです。

図表1 中国株・各種指数の推移



（出所）ブルームバーグより大和アセット作成

図表2 実質GDP成長率の推移



（出所）中国国家統計局

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。